



7章

私たちの消費のあり方が社会を変える

教科書
PP.258▶261

本章の目標

●静岡市のごみ処理の現状や、環境に対する取組を知り、実践しよう。

ここまで、買うことについて学んできたけど、買ったものを使い終えた後のことも意識する必要があるんだ。
まずは静岡市の取組をもとに考えてみよう。



しずも



みなさんこんにちは！静岡市のごみ減量啓発キャラクター「しずも」です。
静岡の「しず」ともったいないの「も」で「しずも」だよ！
静岡市では、平成19年度から市全体のごみを減らす運動を進めているよ。

① なぜ、静岡市ではごみを減らす運動をしているのか考えてみよう。

一人が1日に出すごみの量（令和3年度）

全国



※環境省発表による



静岡市

872g

※ごみに関する統計

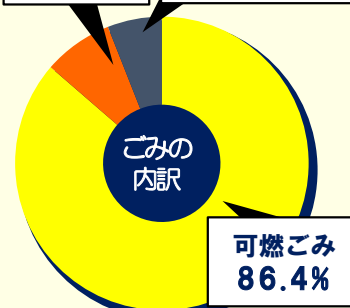
1か月（30日）にすると
大きいごみ袋およそ6.1個※



※1袋（45L）≒4285g（福岡市調査）
のごみが入るとして計算

資源ごみ
7.8%

不燃・粗大ごみ
5.8%



静岡市HP「ごみに関する統計」
ごみ処理量と排出量（令和3年度実績）より

木・竹・草類
2.2%

その他
5.0%

繊維類
3.5%

生ごみ 39.0%

手つかず食品・・・4.6%

食べ残し・・・3.3%

その他厨芥類・・・31.0%

食品ロス

※端数処理を行っています。

家庭系可燃ごみの
組成調査
（令和3年度）

プラスチック類
23.6%

紙類
26.8%

静岡市HP「ごみに関する統計」
令和3年度 家庭系可燃ごみ（ステーションごみ）の組成調査結果より



② ごみの量や内訳をみてどんなことに気づきましたか。